

北海道大学 電子科学研究所附属社会創造数学研究センター

×

日立北大ラボ

新領域探索

シンポジウム

2024



講演者

第1部 「自治体・企業からの課題提起」

堂屋 敦誠

[自然電力株式会社 事業企画部 地域連携事業統括/北海道科学大学 工学部 都市環境学科 客員教授]

竹本 享史

[日立北大ラボ ラボ長代行主任研究員/北海道大学 電子科学研究所 客員教授]

第2部 「企業・大学からのシーズ紹介」

椎橋 徹夫 [株式会社 Laboro AI 代表取締役CEO]

小松崎 民樹

[北海道大学 電子科学研究所附属社会創造数学研究センター・化学反応創成研究拠点(WPI-ICReDD) 教授]

田口 茂 [北海道大学大学院 文学研究院 教授/人間知・脳・AI研究教育センター長]

竹澤 正哲 [北海道大学大学院 文学研究院 教授] ※講演者は変更になる場合があります。

2024年3月21日(木) 14:00~16:30

会場/北海道大学 フード&メディカルイノベーション(FMI)国際拠点 多目的ホール

主催/北海道大学 電子科学研究所附属社会創造数学研究センター、日立北大ラボ

参加
無料

2024年3月15日(金) 12:00締切

参加形態 会場参加・オンライン参加



右記、ウェブサイト内の申込みフォーム (<https://va.apollon.nta.co.jp/hxhf2024/>) からお申し込みください。※下記のE-mailからはお申し込みできません。

【受付・申込みに関するお問い合わせ】

受付事務局 ✉ hitachi_sec1@nta.co.jp

【シンポジウムの内容に関するお問い合わせ】

日立北大ラボ事務局 <https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/hqrd/hokudailabo/general/form.jsp>

本シンポジウムは、数学・数理科学による課題解決研究に取り組んでいる北海道大学 電子科学研究所附属社会創造数学研究センターと、北海道における過疎化、少子高齢化などの社会課題解決に向けて健康・産業・エネルギーが連携した共生のまちづくりを推進している日立北大ラボが共催し、「数学的社会創造」「AIの産業応用」「哲学的考察」「エコシステム構築」などの観点から、企業からの課題やニーズと企業・大学からの技術シーズとの共有を通じた学術的ネットワークの強化により、持続可能な地域社会の実現をめざした新研究領域の探索について、みなさまと議論し、未来を協創するための場です。

TIME SCHEDULE 当日の講演予定

※プログラム、講演者は変更される場合があります。

13:30～ 開場

14:00～14:10 開会挨拶

増田 隆夫 [北海道大学 理事・副学長]
西村 信治 [日立製作所 研究開発グループ 基礎研究センター長]

14:10～14:50 **第1部 自治体・企業からの課題提起**

「地域における脱炭素社会構築の意義について」
堂屋敷 誠

[自然電力株式会社 事業企画部 地域連携事業統括 / 北海道科学大学 工学部 都市環境学科 客員教授]

「数理科学の社会応用: バッテリー地域循環による
エネルギーの地産地消に向けた取組み」

竹本 享史

[日立北大ラボ ラボ長代行主任研究員 / 北海道大学 電子科学研究所 客員教授]

14:50～15:00 休憩

15:00～16:20 **第2部 企業・大学からのシーズ紹介**

「AI技術の産業応用から考える、「人間=機械複合系社会」の行方」
椎橋 徹夫 [株式会社 Laboro AI 代表取締役CEO]

「強化学習戦略による作業効率化と最適戦略設計」
小松崎 民樹

[北海道大学 電子科学研究所附属社会創造数学研究センター・化学反応創成研究拠点(WPI-CReDD) 教授]

「自他の重ね合わせと相互媒介—哲学×AIの融合研究」
田口 茂 [北海道大学大学院 文学研究院 教授 / 人間知・脳・AI研究教育センター長]

「小さなモデルと大きな現実: 市民から見た数理の意義」
竹澤 正哲 [北海道大学大学院 文学研究院 教授]

16:20～16:30 閉会挨拶

調整中 [北海道大学]
山田 真治 [日立製作所 研究開発グループ 基礎研究センター 日立北大ラボ長]

17:00～ **意見交換会・ポスター発表会**

会場: 北海道大学 FMI国際拠点2階 オープンカフェ
※詳細につきましては当日ご確認ください。

講演者



堂屋敷 誠



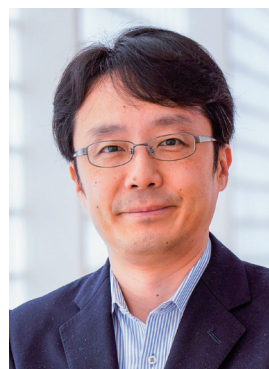
竹本 享史



椎橋 徹夫



小松崎 民樹



田口 茂



竹澤 正哲

北海道大学 電子科学研究所附属 社会創造数学研究センター

Research Center of Mathematics for Social Creativity
Research Institute for Electronic Science Hokkaido University

諸科学の「合意言語」である数学は、その特質から分野を問わない応用が可能であるために、理論的にはあらゆる学問分野を横断する機能を持っています。数学・数理科学の持つ社会の難問を解決し社会を本質的に変革する潜在力を生かして、大学や企業で活躍する研究者と連携して、数学・数理科学による課題解決研究に取り組めます。具体的には、客観的に抽出される知見と仮説先行型の理論科学を融合させ、新しい研究方法の枠組みの中で実験事実在即した概念の創出を目指している。

日立北大ラボ

Hitachi Hokkaido University Laboratory

2016年に株式会社日立製作所が国立大学法人北海道大学とのオープンイノベーションの拠点として北海道大学キャンパス内に開設した共同研究ラボ。従来の共同研究の枠組みを越えた産学官地域連携により、北海道が直面している少子高齢化や過疎化といった社会課題解決と持続可能な地域社会の実現をめざした共生のまちづくりを推進している。

北海道大学 電子科学研究所附属社会創造数学研究センター × 日立北大ラボ
新領域探索シンポジウム 2024

2024年 3月21日(木) 14:00～16:30 **参加無料**

会場 / 北海道大学 フード&メディカルイノベーション(FMI)国際拠点 多目的ホール
主催 / 北海道大学 電子科学研究所附属社会創造数学研究センター、日立北大ラボ